

## 調査レポート

## 2016年10～12月期のGDP(2次速報)予測

調査部 主席研究員 小林真一郎

3月8日に内閣府から公表される2016年10～12月期の実質GDP成長率(2次速報値)は、**前期比+0.6%(年率換算+2.4%)**と1次速報値の同+0.2%(同+1.0%)から上方修正される見込みである。

上方修正される原因は、企業の設備投資および在庫投資である。公共投資は下方修正される可能性があるものの、全体への影響は軽微にとどまろう。その他の項目については、大きな修正はない見込みである。

名目GDP成長率についても、前期比+0.3%(年率換算+1.2%)から、同+0.6%(同+2.6%)に上方修正されると見込まれる。一方、GDPデフレーターは、前年同期比-0.1%から修正はないであろう。

	2015年		2016年				前期比(%)	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	10-12 (1次)	変化幅 (%ポイント)
実質GDP	0.2	-0.3	0.6	0.4	0.3	0.6	0.2	0.3
同 (年率)	0.8	-1.2	2.3	1.8	1.4	2.4	1.0	1.4
同 (前年同期比)	2.1	1.1	0.3	0.9	1.1	2.0	1.7	0.3
内需寄与度 (*)	0.3	-0.3	0.2	0.5	-0.1	0.3	-0.0	0.3
個人消費	0.5	-0.6	0.4	0.2	0.3	-0.0	-0.0	0.0
住宅投資	1.5	-1.0	1.4	3.3	2.4	0.2	0.2	0.0
設備投資	0.6	0.5	-0.3	1.3	-0.3	2.6	0.9	1.6
民間在庫 (*)	-0.2	-0.1	-0.2	0.2	-0.3	0.0	-0.1	0.1
政府最終消費	0.5	0.7	1.4	-1.1	0.3	0.4	0.4	0.0
公共投資	-1.1	-1.5	-1.1	1.1	-0.7	-2.9	-1.8	-1.1
外需寄与度 (*)	-0.1	0.0	0.3	-0.0	0.4	0.2	0.2	0.0
輸出	2.1	-0.8	0.9	-1.2	2.1	2.6	2.6	0.0
輸入	2.3	-0.8	-1.1	-1.0	-0.2	1.3	1.3	0.0
名目GDP	0.5	-0.3	0.8	0.3	0.2	0.6	0.3	0.3
同 (年率)	2.1	-1.0	3.1	1.2	0.7	2.6	1.2	1.4
同 (前年同期比)	3.9	2.6	1.2	1.3	1.0	1.9	1.6	0.3
GDPデフレーター (前年同期比)	1.8	1.5	0.9	0.4	-0.1	-0.1	-0.1	0.0

(注) 内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度  
(出所) 内閣府「四半期別GDP速報」

主な需要項目別の動向（実質ベース）は以下の通りである。

- ・ 個人消費、住宅投資は、その後発表された統計を勘案しても、大きな修正はないと考えられる。
- ・ 民間企業設備投資は、需要サイドの統計である 2016 年 10～12 月期の法人企業統計において、季節調整済みの設備投資が前期比 +3.5% と高い伸びであったことを勘案すると、1 次速報値の前期比 +0.9% から同 +2.6% に上方修正されるであろう。
- ・ 在庫投資は、10～12 月期の法人企業統計の結果を踏まえると、実質 GDP に対する前期比寄与度は、1 次速報値の -0.1% から 0.0% に上方修正される見込みである。
- ・ 公共投資は、12 月の建設総合統計の結果を反映すると、1 次速報値の前期比 -1.8% から同 -2.9% に下方修正されると予想される。
- ・ 輸出及び輸入については 1 次速報値からほとんど変更はないとみられ、実質 GDP に対する前期比寄与度も 1 次速報値の +0.2% のままであろう。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。